

令和元年度小笠原諸島森林生態系保護地域部会

第3回小笠原部会 議事概要

日時：令和2年2月25日（火）15:00～17:00

場所：（父島）小笠原世界遺産センター会議室

（母島）小笠原村母島村民会館会議室

（内地）日本森林技術協会大会議室

1. 小笠原諸島森林生態系保護地域に係る主な事業等について

- ・2月13日にオガサワラカワラヒワの保全対策に関する意見交換があったが、その後の行政の動きを伺いたい。
- ・小笠原部会の前に開催された修復事業検討委員会はアドバイザー会議の役割も担っているので、議事録か議事概要を出してもらいたい。
- ・森林生態系保護・修復等事業は5ヵ年計画に基づいて実施されている。今年は3年目なので、進捗を客観的に評価し、次期計画に向けての評価が必要ではないか。
- ・東島の保全対象は海鳥、オオハマギキョウ、陸産貝類であるが、広域に分布するギンネムを短期間に駆除する手法がまだ確立していないので、一度止めて他に予算等を回してもよいのではないか。
- ・弟島のオガサワラグワはシロアリが入り、かなり厳しい状況であるとのことだが、今年度の状況はどうか。
- ・台風による風倒枯死木が増えたことから、シロアリの情報や対策について伺いたい。また、生態系全体への評価がなされていないのではないか。
- ・弟島のガジュマルはアカギよりも生態系に与える影響は大きいので、コウモリ等の餌資源問題や残留薬剤成分問題等があるものの、根絶に向けて事業を進めてもらいたい。
- ・兄島滝之浦のセンダングサ群落への薬剤散布試験にラウンドアップを使用しているが、土壌生物、昆虫類、地下水への毒性分析など安全性をきちんと出してほしい。また、ラウンドアップだけに頼らず、別の方法も準備しておいてほしい。
- ・希少種保護増殖事業で課題解決のランク区分がある。絶滅寸前のコヘラナレンを除き、シマカコソウ、ウラジロコムラサキ、ムニンノボタンなど条件が揃えば良い生育をしているものがあるので検討してもらいたい。
- ・台風により母島のタイヨウフウトウカズラの生育地がひどい状況になっているため、柵の修復や移植などの対応はどうか。

2. 地域住民やボランティア等との連携・協働による森林づくりについて

- ・特段の意見なし。

3. 指定ルートの見直しについて

- ・指定ルートモニタリングの現状把握一覧表には、南島や母島石門ルートが入っていない。
東京都から資料提供を受け、この一覧表に掲載すべきである。
- ・指定ルートは、観光利用や島民利用、調査利用がある中で独自のルートとして決められた。
指定ルートの見直しを行うのであれば、ルート管理のあり方(指定ルートか遊歩道か等)
やカウンターシステムの有無など、多くの要素があるため、きちんと全体を総括しても
らいたい。
- ・当初、生態系保護地域を守ると言う観点で指定ルートを決めたわけだが、千尋岩ルート等、
観光利用としての意味合いが強いルートがある。そのようなルートは指定ルートではな
く観光ルートとして考えていくことも考えてみてはどうか。また、その場合は遺産価値
が台無しになってしまわないような利用方法の検討が必要だと思う。
- ・今年の予定では“把握”と“評価”まですることになっているが、本日の資料が評価にな
ってしまうのか。一つのルートごとに図面や保全対象種、課題点、植生等を入れ、この
10年間でどうなってきたのかといった総括表を作ったほうがいいのではないかと。
- ・第2回現地連絡会で、小笠原村からエコツーリズム協議会の中にWGを作って検討した
らどうかという案がでたが、その後どうなったのか。
- ・10年前の指定ルート設定時の状況を知っている人の意見が必要だ。
- ・本来の指定ルートのほかに、戦跡で使われていたり、ノネコのカゴわな設置のために、踏
み分け道等がかなりできている。このような踏み分け道も含めて検討してほしい。
- ・南島はガイド同行必須とルートが固定化されたことが大きい。大きな怪我人も出ておら
ず、安全面からも指定ルート进行评估して欲しい。

4. その他

- ・タイヨウフウトウカズラについては、特段の意見なし
- ・保全計画改定のプレスリリースについては、特段の意見なし。
- ・咸臨丸墓地横の国有地は、ギンネム、アカギなどの荒地だったものを刈り払い、保安林
の許可もとって貰い植栽した。モモタマナやタマナ、タコノキを植えているが、ノヤギ
の食害がひどい。ヤギ柵を作ることで2~3年保護できれば林になるはずだが、構造物の
建設はダメと聞いている。指定ルート同様、うまく運用して実施できるようにしてもら
いたい。
- ・小笠原での外来種駆除にラウンドアップが使用されているが、安全対策を行い、モニタリ
ングも実施しながら使用しているということを住民に伝えるよう、HP等で誰でも読め
る場所を作る必要がある。少なくとも、一部の国で使用禁止になっているものなので、
使用している全官公庁が協力してやって欲しい。